

ひまわり

Vol. 30
2020.9.1



水彩画「ひまわり」中島 昌子さん(万平町)の作品

特集
男女共同参画社会の実現に向けて
デートDV
お互いを尊重した関係を築くために

1つでも当てはまったら、デートDVの可能性がります

こんなことした(された)ことありませんか？ 危険度をチェックしてみましょう！

- なくる、ける、無視する、バカにする、大声でどなる
- 今、どこに誰といるのか行動をチェックする
- ほかに人と仲良くしていると責める
- 電話やメッセージにすぐに応じないと怒る
- 用事があっても一緒に帰らないと不機嫌になる
- 携帯電話を無理やり(無断で)チェックする
- デートの時にいつも交際相手にお金を払わせる
- 性的な行為を強要する



詳しくは、特集記事へ……

特集 デートDV ～お互いを尊重した関係を築くために～

前号のひまわりVol.29では、配偶者等によるDV(ドメスティック・バイオレンス)の特集を取り上げました。今回は、DV特集第2弾として、中高生や大学生向けの「デートDV特集」を組みました。DVは大人だけでなく、中高生や大学生など、交際する者同士の間でも起きています。この交際相手からの暴力を「デートDV」といい、誰もが被害者になる可能性があります。交際相手のいた(いる)人のうち、デートDVの被害にあったことのある女性は21.4%、男性は11.5%です。20代の女性は36.0%が被害にあったことがあります。(内閣府男女共同参画局 平成29年度調査)

デートDVの特徴

好きな人だから……
優しいときもあるから……
1人になりたくないから……
自分が悪いと思うから……
別れたら何をされるかわからない……

被害にあっていると
気づかない……
認めたくない……
別れられない……



「付き合うのをやめたい…」 と思うけど…

デートDVの関係では、
暴力→優しい→暴力→優しい…
が繰り返されます。
「自分がガマンすれば…」
「愛されているから怒られるんだ…」
「いつか変わってくれる…」などと思い、
離れられなくなってしまうことがあります。
「別れたら許さない…」と脅され、
支配から離れられなくなっていることもあります。

ひとりで悩まずに信頼できる人に相談しましょう！

相談機関	受付・相談時間等	電話番号等	相談機関	受付・相談時間等	電話番号
「ハートピア」相談室 (熊谷市男女共同参画推進センター)	月～金 第1・第3土 9:00～17:15 (祝日・休日・年末年始を除く)	048-599-0015	埼玉県婦人相談センター	月～土 9:30～20:30 日・祝 9:30～17:00 (年末年始を除く)	048-863-6060
With You さいたま (埼玉県男女共同参画推進センター)	毎日 10:00～20:30 (祝日・休日・第3水・ 年末年始・臨時休業日を除く)	048-600-3800	みんなの人権110番 (さいたま県庁方法務局)	平日 8:30～17:15	0570-003-110
	毎月第3日曜日 11:00～15:00 男性のための電話相談 対象:県内在住・在勤・在学の男性	048-601-2175	女性の人権ホットライン (さいたま県庁方法務局)	平日 8:30～17:15	0570-070-810
	インターネット相談(24時間受付) http://www.pref.saitama.lg.jp/withyou/counsel/guide.html				



悔いをまじり、小さらなプロジェクト
いさよさん(仮名)は、現在、熊谷市立女子高等学校で教員として勤務しています。彼女は、2016年に活動を開始し、子どもたちの自己学習、考え、問題を解決する力を育てるために、教室での学習の枠にとらわれない実践的な教育を行ってきました。うちわ祭や全国ご当地うどんサミットでも、子どもたちが外国人へのおもてなしや共に体験活動をする中で、大きな成長を遂げたのです。赤井さんは大学卒業後、中学校の英語教師になりましたが、従来の画一的な学校教育の在り方に疑問を感じ、ある日思い立ち、教師を辞め、単身で世界一周の旅へ。さまざまな国を訪れ、人や物事に触れる中で、常にその国の「教育現場」を後、近所の子どもたちを集め、海外の体験談を交えながら英語を教えるようになり、それが口コミで評判を呼び、今の活動のスタートとなりました。



NPO法人AEA英語通訳キッズプロジェクト 活動の様子

活動の大きな舞台になるはずだった2020年東京五輪・パラリンピック。県内から多くの子どもたちを集め、ボランティアとして籠球(注1)の試合のおもてなしを企画していましたが、新型コロナウイルスの影響により見直しとなりました。現在は、オンライン会議で子どもたちとつながる日々ですが、良い点も、それは世界中の人と一瞬でつながれること。今後は各地の五輪選手を会議に招待する計画を子どもたちと立てています。
「今までの常識が通用しない時代がやってきます。受け身で画一的な教育から抜け出し、自ら考え、臨機応変に対応し、行動できる力を育てることが必要です。そんな世代を担う人が育ってほしい。もしお悩みのある保護者の方がいらしたら、お力になられるかもしれません。最後に力強いお言葉を頂きました。」

注1・・・バスケットボール
配偶者や恋人など親密な関係にある人からの暴力(DV)に悩んでいる方、自分が我慢すればと思わずに、相談してください。どんな小さなことでも、相談員がお聞きし、一緒に考えさせていただきます。電話相談は匿名でもお受けしていますので、まずはお電話ください。

ひとりで悩んでいるあなた、一度相談してみませんか？
◆ハートピア相談室 ☎048-599-0015

相談名	相談日	時間
電話相談・直接相談(予約不要)	月～金曜日 第1・第3土曜日 (祝日・年末年始を除く)	9:00～17:15
弁護士による相談(要予約)	隔月1回(奇数月)	10:10～11:40
臨床心理士による相談(要予約)	毎月1回(第4金曜日) (祝日の場合は変更)	9:00～16:00
保健師による相談(要予約)	毎月2回(第2・第3水曜日) (祝日を除く)	13:30～15:30

(各相談とも無料・秘密厳守)

募集
★表紙やカットとして掲載する「ひまわり」の絵や写真、その他の作品を募集します。
★輝いてます! (市内で活躍されている方の紹介のコーナー)に登場していただく方を募集しています。自薦、他薦は問いません。
※掲載料も、応募多数等により掲載にならない場合がありますが、どうぞご了承ください。
★本誌への「意見」ご感想をお寄せください。

【応募問い合わせ】
〒350-0037
熊谷市男女共同参画推進センター
TEL 048-599-0011
FAX 048-599-0012

【編集後記】
新型コロナウイルスの影響による「フレイホーム」が不要不急の外出を控えて、それが不安やストレスを抱えて、その生活を送られてきたかと思いませんか。新しい生活様式として、SNSやオンラインサービスなど、画像が掲載されるような社会的行動は、DV(性暴力)の被害に悩んでいる方にとって、心強い味方です。特集として、DVを取り上げさせていただきます。ご意見、ご感想をお寄せください。

編集長 吉富田秋子
編集委員 田代元子、留嘉、重昭、重昭、重昭